

こころの便り

第247号

令和2年10月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二
株式会社新宮運送グループ
代表/木南 一志
kminami@shingu.co.jp
電話0791-751212



新宮運送ホームページ

氣働き

日本には「身」が「美しい」と書いて、「躰」というように奥に隠された意味が含まれていて学んでいくほどに深さを感じさせてくれるものがあります。それは、私がやりましたと自慢をするようなものではありませんから、海外の人から見れば日本人は分からないという誤解を受けることになるのです。

緊急事態宣言の最中に小児がんの女の子が「ミニーマウスに会いたい」というニュースがありました。私はフェイスブックで「どなたかミニーとご縁のある方いませんか？」と問い掛けました。羽田街道のおもてなし清掃の世話人をされてきた菅原伸吾さんが連絡をくれました。その後、日本を美しくする会の千種敏夫専務理事がドイツニールランドのスタッフの方につないでくださり、女の子は緊急事態宣言の解除のすぐ後に夢のミニーマウスに会うことができたのです。

当然、親御さんも女の子も、私のことも菅原さんや千種さんのご縁のリレーのことも知りません。感謝の言葉も届くこともないのです。それでも、お二人は良かった良かったとメールを届けてくださいました。掃除を実践しているメンバーには、このような方がたくさんおられます。そのおかげで美しい街が保たれているとしたなら、

私たちはもつと周りを見て生きていかないといいけないのではないかと感じます。新聞記者から作家になられた草柳大蔵という方のお話を紹介します。

「やはりお習字をしている娘さんは違いますね。」という言葉を書くことがある。字のうまい下手をいつているのではない。注意深い、人の話を身を入れて聞いている、話が終わってその場を立ち去るときに、テーブルやイスのあたりをさっと見回している等々の、人間の能力について感心されるのです。

日本人は、このようなことが普通に小さなころから実践できるように育てられてきました。しかし、便利な世の中が昔に学ばなくなると、新しいことばかりを優先して、手間のかかる「氣働き」という文化を捨て去ろうとしているように見えたり仕方ありません。

仕事を通じて、自分を磨く。そして、氣づく人になる。その氣づきを実践できる人になる。仕事の本物になるのは、ここからなのです。世界に誇る日本の文化を学びましょう。実行できる人になりましょう。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拜

尋常小學修身書 卷六 兒童用

第七課 祖先と家

我等の家では、父は職業に勵み、一家の長として我等を保護し、母は父を助け、一家の主婦として家事にあたり、共に一家の繁榮と子孫の幸福をはかつてゐます。父母の前は祖父、祖父母の前は曾祖父母と、我が家は祖先が代々維持して來たものです。代々の祖先が家の繁榮と子孫の幸福をはかつた心持に於ては、いづれも父母とかはりありません。我等はかやうに深い祖先の恩を受けて生活してゐるのです。この恩を感謝し、祖先を尊ぶのは、自然の人情であり、また人の道であります。

一家の中で、一人でも多くよい人がゐて、業務に勵み、公共の事に力を盡せば、一家の繁榮を増すばかりでなく、また家の名譽を高めることになります。また僅か一人でも不心得の者がゐて、悪いことをしたり、務を怠つたりすれば、一家の不名譽となり、その繁榮を妨げます。一人の善悪の行は、たゞその人だけのことと思ふのは大きな間違で、一家全體の幸不幸となり、祖先の名にもかかはります。それ故一家の人々は、皆心をあはせて家の名譽と繁榮の爲に力を盡し、祖先に對してはよい子孫となり、子孫に對してはりつぱな祖先となるやうに心掛けることが大切であります。

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていただいております。